

共謀罪と言論・表現の自由 ～放送・新聞・出版の現場から考える～

日時:2017年4月17日(月)18:30～20:00(18:00より受付開始)

場所:中央大学駿河台記念館 610 教室

(東京都千代田区神田駿河台 3-11-5)

※事前申込不要・参加費無料

政府は、オリンピック開催のためにはテロ対策として「共謀罪（テロ等組織犯罪準備罪）」の制定が不可欠としています。一方では、これまで3度にわたって国会に上程されながら、廃案になった経緯があります。すでに同法案に関しては、憲法・刑事法・国際人権法など法の観点から多くの議論がなされていますが、もう1つ、重要な観点として「ジャーナリズム（言論報道活動）」があります。

言論・表現活動に携わる者として、共謀罪が取材・報道の自由とどのような影響があるのかを改めて確認し、同時に、昨今の《言論萎縮状況》にいかに向かかっていくかを話し合いたいと思います。

金平茂紀（放送の現場から）TBSテレビ『報道特集』キャスター

小林基秀（新聞の現場から）新聞労連委員長（北海道新聞編集委員）

樋口 聡（出版の現場から）編集・ライター

（順不同）

岩崎貞明 メディア総研・専修大学特任教授・JCLU 会員＝司会



—アクセス—

- ・JR 中央・総武線 御茶ノ水駅（聖橋口）徒歩 3 分
- ・丸ノ内線 御茶ノ水駅（2 番出口）、徒歩 6 分
- ・千代田線 新御茶ノ水駅（B1 出口）、徒歩 3 分
- ・新宿線 小川町駅（B5 出口）、徒歩 5 分